

霧島

広報きりしま



特集 Special Feature

県・市町村合同企画

焼酎は **よもぎ** だ
小さな学び舎の輝き

使ってトクトク
クーポン
オリジナル
Post Card
付

本格焼酎の日である11月1日から3日間、天文館に、鹿児島初「焼酎ストリート」が出現。



県内113全ての蔵元の焼酎が6杯500円で楽しめます。抽選で本格焼酎のプレゼントも。「1万人でいっせい乾杯」や奄美出身の人気デュオ・カサリンチュのライブ、前園真聖さんのトークショーなども行います。

詳しくはイベントホームページで。
<https://shochustreet.com/>

焼酎は **よめ** だ

県・市町村合同企画 本格焼酎の日11月1日を前に、鹿児島の焼酎の良さ にあらためて目を向けてもらおうと、県内自治体で組んだ合同特集です。



よしひろ 鮫島吉廣さん (68)
 南さつま市出身。大手酒造メーカー勤務を経て、鹿児島大学教授、全国初の焼酎学講座を開講。同大焼酎・発酵学センター客員教授。同市在住。

皆さんは「ダレヤメ」という言葉を知っていますか。鹿児島弁で「ダレ(疲れ)を「ヤメ(取)る」。仕事の後、本格焼酎(以下、焼酎)を飲んで一日の疲れとストレスを癒やし、明日への活力を養う、鹿児島の晩酌のことです。なぜ鹿児島にダレヤメ文化が根付いたのでしょうか。鹿児島大学の焼酎の専門家・鮫島吉廣さん(68)に、その背景を尋ねました。

焼酎を最高のおもてなしに
 鹿児島県は焼酎文化で「おもてなし」を掲げる条例まで制定した、自他共に認める焼酎王国。体に優しい焼酎は、地域独自の歴史と文化がぎっしり詰まった最高の一品です。県外の人にぜひ焼酎の良さを伝え、こだわりの飲み方や多様な銘柄を勧めてください。皆さんのおもてなしが、鹿児島の魅力を高めてくれます。「ダレヤメ」が全国に広まる日を夢見て、今宵も鹿児島県の焼酎で乾杯、しませんか。

究で、焼酎は「水やほかの酒よりも、食後の血糖値の上昇を抑える効果が高い」ことが分かりました。糖質やプリン体も含まず、まさに健康を考えて飲むなら焼酎が一番。
 県内には113の蔵元があり、その数は日本一。各蔵元が作る豊富な銘柄と多様な味わいは、毎日飲むお酒として無限の楽しさを秘めています。
 これらの素晴らしい要素が、私たちにダレヤメ文化を根付かせたのです

鹿児島島の味付けは、しょうゆをはじめ甘くこってり。その味に合うのがすっきりとした「焼酎」。お湯割り、水割りなど自分の好みの濃さで、アルコール度数を変えて食中酒として楽しめる、世界的にも特に珍しい蒸留酒なのです。さらに鹿児島大学の最近の研究

「鹿児島は焼酎発祥の地。16世紀の大工の落書きに庶民のお酒として広まっていた記録が残っています。18世紀には当時高価な米の代わりに、安く育てやすいサツマイモが使われるようになりまし。さらに清酒作りに向かない暑い土地柄が、焼酎造りに合う麹菌の導入や製造法の工夫につながります。奄美地方では、黒糖の産地ならではのサトウキビを原料にした黒糖焼酎が造られるなど、鹿児島独自の焼酎として進化を続けてきたのです。

風土が生んだ「鹿児島」のお酒
 「鹿児島は焼酎発祥の地。16世紀の大工の落書きに庶民のお酒として広まっていた記録が残っています。18世紀には当時高価な米の代わりに、安く育てやすいサツマイモが使われるようになりまし。さらに清酒作りに向かない暑い土地柄が、焼酎造りに合う麹菌の導入や製造法の工夫につながります。奄美地方では、黒糖の産地ならではのサトウキビを原料にした黒糖焼酎が造られるなど、鹿児島独自の焼酎として進化を続けてきたのです。

皆さんは「ダレヤメ」という言葉を知っていますか。鹿児島弁で「ダレ(疲れ)を「ヤメ(取)る」。仕事の後、本格焼酎(以下、焼酎)を飲んで一日の疲れとストレスを癒やし、明日への活力を養う、鹿児島の晩酌のことです。なぜ鹿児島にダレヤメ文化が根付いたのでしょうか。鹿児島大学の焼酎の専門家・鮫島吉廣さん(68)に、その背景を尋ねました。

※お酒は20歳になってから、適量で。
 ※飲酒運転は法律で禁止されています。
 ※妊娠中や授乳期の飲酒は控えましょう。

鹿児島県の焼酎の魅力が分かる動画はこちら



<https://www.youtube.com/watch?v=c7iKH8H5Puo>



- 「本格」焼酎とは、麴にイモや黒糖などの主原料を加えて発酵を進め、できたもろみを単式蒸留器でじっくり蒸留して造られる、砂糖やアルコールなどの添加物が一切無い焼酎。原料の風味が豊かで、味わい深いのが特徴。
- 鹿児島の焼酎は「薩摩焼酎」として世界貿易機関(WTO)のトリプス協定で、地理的表示の産地指定を受けています。
- 昭和62年、日本酒造組合中央会が、新酒がおいしい季節の11月1日を本格焼酎の日と制定。平成19年には、奄美大島酒造組合が「こ・く・と」と読める5月9、10日を奄美黒糖焼酎の日と制定。

うわぬゆ 上温湯 あゆみさん(28)
 隼人町在住

焼酎の魅力は体調や気分に合わせてさまざまな飲み方ができること。二日酔いしにくく美容にも◎。乾杯は関平鉱泉水で割って本来の風味を味わい、後は炭酸や果実酢割りを楽しんでいます。最近は飲みやすい焼酎が増えてるので、ぜひ試してほしいですね。



お好みの飲み方まで

げしま 梶島 睦夫さん(58)
 福山町在住

うちでは飲む前に、水と焼酎を大抵5:5で割って冷蔵庫で一晩寝かせます。「前割り」と言って、水が馴染み甘さが増します。燗につけて飲むと、疲れが取れてよく眠れます。毎日1合ずつ、適量で永く付き合うのが私流。その日の焼酎を選ぶのも楽しみです。



適量で永く付き合う

隼人町嘉例川の静かな山あいにある中福良小学校。全4学級の小規模校で、3・4年と5・6年はそれぞれ一つの教室で学ぶ複式学級です。1学年が授業を受ける間、もう1学年は与えられた課題に児童同士で取り組み、休み時間には学年や性別の垣根を越え、一緒に触れ合う姿が見られます。

同小の校区である中福良地区は少子高齢化が進み、今年9月現在で人口272人。うち15歳未満の子どもは16人です。しかし同小ではその数を上回る35人の児童が学んでいます。

理由は自然豊かな小規模校に、校区外からバスや家用車で通学できる小規模特認校（以下「特認校」）制度を導入したからです。平成12年、市内に先駆けて制度を導入した同小にはこれまでに延べ150人以上の児童が転校してきました。特認校生の数は現在27人と市内で最も多く、同小の児童数の約8割を占めます。

全国では過疎化が進む地域の教育の場を確保しようと、特認校制度や山村留学制度など、校区外から子どもを呼び寄せる動きが進んでいます。市内では中山間地域を中心に、11の小規模校と1つの中学校で特認校制度を導入しています。山村留学制度は県外や市外から子どもや家族が制度実施校区内に移住し、そこから通学する制度。市内で

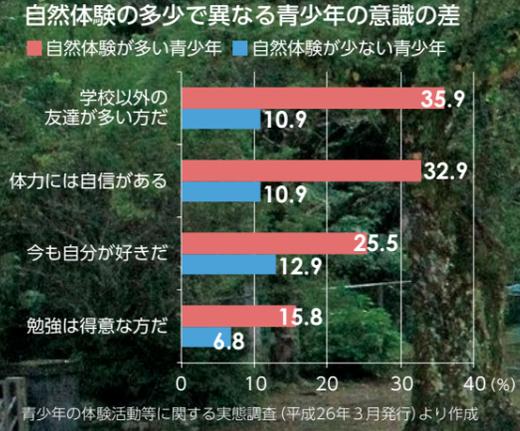
は霧島の永水小と牧園町の中津川小のみ実施しています。

小規模校の魅力とは

自然豊かな小規模校で学ぶメリットは、きめ細かい指導を受けられることや自主性、積極性、協調性の向上などさまざま。国立青少年教育振興機構の調査によると、自然体験が豊富な青少年は自然体験が少ない青少年と比べて「友達が多い」「体力がある」「自分が好き」「勉強ができる」などの効果が表れています（グラフ参照）。

霧島市の総面積の約7割を占める、自然に囲まれた中山間地域。そこには子どもたちが生き生きと輝く、小さな学び舎があります。

◎図II 学校教育課(42) 1116



小さな学び舎の輝き

Shine of a small school

誰もが子どもの頃に通った「学校」。

しかしその学校が、少子高齢化や

過疎化の進行により全国で減り続けています。

そんな中、豊かな自然環境や

少ない人数の利点を生かし、

のびのびとした教育を行う学校があります。

今回は、静かな山里の中で学ぶ

子どもたちの姿から、

学校や教育の持つ

役割について考えてみます。



INTERVIEW

小規模校で大人も成長

兄 妹とも小学1年から特認校制度を利用して8年になります。自宅からバスでの通学が可能だったこと、のびのびした環境で育てたくて小規模校を選びました。特認校は事前に体験入学ができるので、児童や先生、学校の雰囲気をよく知ることができて安心でした。兄は下の子の面倒をよく見る子に、妹は意見を堂々と発表する活発な子に育っています。親にできることは「その子に合った環境を与えてあげ



中福良小学校PTA会長
上福元孝さん(43)
国分在住

INTERVIEW

一人一人が主役の学校

田 んぼでのどろんこ遊びなど自然体験がたくさんできると聞いて、4年生のときに隼人町の小学校から転校してきました。みんなが仲良くしてくれて、すぐに下の名前呼び合うようになりました。授業では発表回数が多いので、ちゃんと分かるまで勉強しています。分からないところは先生が一人ずつ分かるまで教えてくれたり、友達で教え合ったりするので苦手だった教科も大好きになりました。特に理科の授

業では学校の近くの川や山を探検し、水の働きや地層の仕組み、虫や植物を直接見て触れて学びます。自然が近くないとできないことだと思います。学校では一人一人が必ず自分だけの役割を持っています。私は給食委員で、毎日の献立を黒板に書きます。どんな材料が使われるのか勉強になるし、みんなが楽しみにしてくれてやりがいがあります。学校ではみんなの力が必要、一人一人が主役です。



中福良小6年
西山佳那さん(11)
隼人町在住

山村留学生募集

山村留学制度は、児童だけが里親の家で暮らす「里親方式」と、家族で地域住民の家を借りて暮らす「親子方式」があります。市内では霧島の永水小と牧園町の中津川小で実施しています。

市外で暮らす孫や知人の子どもなどに、ぜひ制度を紹介してください。詳細は問い合わせください。

- 留学対象 = 市外在住の小学1～6年生
 - 受入期間 = 原則1年(希望により延長も可能)
 - 受付期間 = 随時、電話で相談・面談の上受け入れを決定
- ☎ = 永水小学校(山村留学里親制度実施委員会) ☎(57)0367、中津川小学校 ☎(77)2429

特認校生募集

市内の小中学生に、一定の条件の下、特別に入学(転学)を認める制度です。※住所はそのまま、自宅からの通学です。距離により通学補助があります。

- 受付期限 = 【継続】11月11日(金)午後5時、【新規】平成29年1月11日(水)～2月10日(金)午後5時
- ※ 募集期間内で各学校の受け入れ定員に達した場合は、受け付けを終了することもあります。
- 申込方法 = 体験入学・学校見学(必須)実施後、学校教育課に申し込み。
- ※ 申し込み時、新小学1年生の保護者は子どもと同伴。
- ※ 申込書は学校教育課や各教育振興課、各特認校で配布または市ホームページからダウンロードできます。継続の

申し込みは各特認校から個別に案内します。
※ 体験入学(学校見学)の期間は学校によって異なります。現在通学する学校の校長を通じて希望する学校へ連絡してください。新小学1年生は入学予定校へ連絡の上、希望する特認校へ連絡してください。

- 入学(転学)の条件
 - ・ 平成29年4月1日現在で市立小・中学校に籍があり、1年を通じて通学できること(年度途中での転入・転出は原則不可)。
 - ・ 小規模校での教育を理解し賛同している保護者で、現在通学する学校や特認校の学級編制などに支障がないこと。
 - ・ 保護者の責任で安全な通学が可能で、特認校での学校行事、PTA活動や子ども会活動などに積極的に関わることができること。

※ 特認校から特認校への入学(転学)はできません。
※ 条件によっては、希望に添えない場合もあります。

● 特認校一覧

学校名	場所	連絡先
木原小・中学校	国分郡田	☎(49)3106
川原小学校	国分川原	☎(45)3688
平山小学校	国分川内	☎(48)2330
塚脇小学校	国分上之段	☎(48)2211
佐々木小学校	横川町下ノ	☎(72)9022
中津川小学校	牧園町上中津川	☎(77)2429
持松小学校	牧園町持松	☎(77)2421
永水小学校	霧島永水	☎(57)0367
中福良小学校	隼人町嘉例川	☎(43)9232
小浜小学校	隼人町小浜	☎(42)0501
福山小学校	福山町福山	☎(55)2030

☎・☎ = 学校教育課 ☎(42)1116

交流が地域を元気づける鍵

市内の小規模校は校区外から訪れる人たちを歓迎しています。学校に集まる人たちの存在は、地域の元気ややりがいにつながっています。



川口希美子さん(41)と倫弘君(8)

霧島の永水小学校は全校児童が25人の小規模校。平成4年には減り続ける児童を増やそうと、県内に先駆けて山村留学制度を導入しました。今年4月、その制度を利用して熊本市内からやって来た川口希美子さん(41)。昆虫好きの息子・倫弘君(8)を大自然の中で育てたいと思い立ちました。2人は現在、地域住民が用意した家で木々に囲まれ暮らしています。倫弘君の日課は帰宅直後の昆虫採集。自宅周りを飛ぶトンボを網で捕まえる。と、羽を持ち観察。虫の名前を尋ねるとすぐに「これはカトリヤンマっていうんだよ」と目を輝かせて教えてくれます。夏には朝早く近くの林に出掛け、カブトムシやクワガタムシを初めて捕まえました。家の本棚には付箋が付い

地域で用意した「大森林の小さな家」

た昆虫図鑑が。一緒に眺める希美子さんは「思い切り好きなことをさせてあげられて本当にうれしいです。この半年で心も体もたくましくなりました。慣れない生活で不安でしたが、皆さんの声掛けに支えられています。こんな環境を用意してくれて感謝しています」と目を細めました。

地域住民のやりがいに

川口さんが安心して住めるよう、空き家を改修した一人の西田澄夫さん(65)は、永水生まれで同小の卒業生。昭和43年に廃校になった永水中学校の最後の卒業生でもあり、地域の学校に強い愛着を持っています。「学校が消えれば若い世代が住まなくなり地域も廃れる」。地域に子どもが増えて欲しい一心で、仕事で磨いた木工や電気、

児童11人に200人以上が加わる大運動会

牧園地区の持松小学校は全校児童11人の特認校。中学校進学を見据え、大人数での活動を体験させようと、区内の3つの小学校と合同授業や修学旅行などで連携を図っています。平成15年からは鹿児島国際大学(鹿



「私の母校に来てくれる子はみんな孫みたいでかわいい。住民同士ができることを分担するので、地域の絆も深まり、やりがいを持つ人も多くなります。来てくれて、こちらこそありがたい」

学校を核に地域ぐるみの取り組みを続ける永水地区。そこには住民と子どもたちの笑顔があふれています。



西田澄夫さん(65) 霧島在住

児童市)児童学科の学生が複式学級の実情を学ぶため交流を開始。平成21年からは秋の大運動会に校区外から参加する児童を募集しています。

その結果、運動会は地域住民や保護者、卒業生、大学生など200人が加

さまざまな交流を生む「学校」

わる一大交流行事となりました。今年からは市内外13の学校から42人の児童と大学生26人が、一緒にかけっこや綱引きなどを楽しみました。

同小に勤めていた知人の縁で5年前から参加する霧島地区の富田かおりさん(47)は「最初は知人の力になりたくて参加しましたが、地域の方と一緒に話したり笑ったりするうちに、この地域が好きになりました。3人の子どもは持松小の子どもの再会を楽しみにしています」とほほ笑みます。

昨年に続き参加した同大4年の荻田康行さん(21)は「年齢や地域が異なるさまざまな人々との触れ合いが、子どもの大きな経験になるのだと感じました。地区外からの来場者が多いのも、



地域のひととの触れ合いや自然環境に魅力を感じるからでは」と話します。

持松地区で生まれ育った田方博さん(67)は運動会でにぎわう様子を眺め「少子高齢化により地域だけでできる行事も限られてきました。地域を盛り上げるには、子どもや保護者、地区外の方の力が集まる学校の存在は不可欠です。同時に人が集まるのは地域の良さを示す好機。地域の火を消さないためにも学校と地域で手を取り合っていきたい」と前を向きます。

200人以上が加わる持松小の大運動会は、学校が秘める地域活性化や魅力発信の可能性を教えてください。



(左から)荻田康行さん(21)、田方博さん(67)、富田かおりさん(47)





神田 嘉延さん(72) 霧島在住
東京都出身。法政大学大学院、北海道大学大学院卒業。教育学博士。昭和60年、鹿児島大学教育学部教授を経て平成19年、同大稲盛アカデミー特認教授。日本教育学会員、ベトナムの日本語・日本文化学院理事長など多数歴任。

「戦前、子どもは『地域みんなの子』という認識で育てられていました。小学生くらいになると、『子ども組』という自治的な異年齢集団に属し、その中で遊び、地域活動の役割なども担っていました。そこで道徳など社会生活に必要なことを身に付け、社会の役に立つ喜びを学んでいました。さらに当時、学校は地域の文化の中心で、活



「子どもは8歳までに脳などの神経が大きく発達するため、さまざまな体験をさせれば、12歳までに驚異的な吸収力を発揮すると言われています。生物や気象、運動など自然がもたらす現象や刺激は子どもにとって最高の学びの素材。幼少期の自然体験が大事なものはこのためです。昔は、子どもたちは自然の中で考え、発見し、学んでいました。まさに自然が先生でした。授業で学んだ科学的な現象は、自然という

「教育の原点は生きるすべを学ぶこと。自然豊かな小規模校はそれを学ぶ機会と、人と地域を活性化させる可能性に満ちています」と話すのは、鹿児島大学名誉教授の神田嘉延さん(72)。南九州を中心に数多くの過疎地域の教育現場を見てきた「へき地教育」の専門家です。

自然が「生きる力」を育む

学校教育法では、地域や郷土での社会的体験や自然体験を重視するよう規定されています。文部科学省は今年8月、次期学習指導要領の答申素案を公表しました。その中で、これまでの知識偏重から知識を「このように使うか」といった活用重視の方向へかじを切りました。神田さんは、自然と触れ合うことが知識を活用するすべを身に付ける近道だとしています。

生きた素材で実験・体験してこそ身に付きます。同時に自然と共生する上で必要な、「自然の恐さ」も学びます。この頃の自然体験の差が、将来の「生きる力」の差になるのです」

教育の原点は「地域」にあり

一方で、子どもたちにとって昭和30年代までは地域や郷土での社会体験が身近なもので、教育の基礎を支えてきたと指摘します。

本当に教育が求めるものとは

昭和60年代からいじめや暴力、不登校など、子どもに関する問題が報じられ続けています。子どもの成長は周りの環境に左右される部分が大いといえます。子どもの教育にとって、本当に必要なこととは何なのでしょう。

化の起点でした。そこには学校関係者以外の住民も集まります。子どもたちは大人との交流でさまざまな情報や知恵を吸収したのです」

都市部こそ教育に地域参加を

自然豊かな小規模校にはこれらの自然体験と地域との関わりが残されています。一方、都市部ではこのような環境が少ないことに危機感を募らせます。「子育て世代の核家族化、共働きの増加などで学校や地域との関係が薄れているのが大きな原因。住民や保護者は学校や地域の行事に参加することが少ないのが現状です。都市部の人こそ一度はへき地教育の現場を見て、子どもたちと触れ合ってみてほしいですね。将来、地域で活躍する子どもの教育は、本来地域の大人全員が行うべきことです。大人の知識や技術は、子どもたち



に還元できるのです。子どもにとって大人は模範。子どもが先生に愛着と敬意を持つように、関わる住民、地域にも愛着と敬意を持つのです」



小さな学舎の輝き
Shine of a small school

あなたの力、教育に生かしませんか

地元の小中学校の要望に応じて、地域住民や各種団体、企業などが子どもたちの教育活動を支援する「学校応援団」制度があります。

●支援例＝毛筆・硬筆・裁縫・ミシンの指導補助、登下校時の安全確保、昔の遊び・道具・生活・戦争体験についての話、農業体験・調理実習・花の栽培補助、本の読み聞かせ、職場体験の受け入れなど
制度の参加には事前に登録が必要です。詳細は問い合わせください。

問＝きりしま学校応援団地域本部(生涯学習課)
☎(42)1118、各出張所教育振興課

学校の活動を見に来ませんか

県では毎年11月1日から7日までを「地域が育む鹿児島県の県民週間」として学校開放を行っています。この前後3週間程度は、各学校で行う行事や普段の授業の様子を自由に見ることができます。

●主な行事＝授業参観、文化祭、学習発表会、収穫祭、交流給食会など
各校の行事などは異なります。詳細は問い合わせるか、各校ホームページをご覧ください。
問＝学校教育課 ☎(42)1116、市内の各小中学校

おしゃんぽ
お写ん歩



秋の風景を撮ろうと、国分の手籠川沿いを散歩していると赤いコスモスを発見。風が吹いていたので花にピンントを合わせるのが難しく、やんだ瞬間を狙いました。自身の足元を入れたので、散歩中の雰囲気が出たと思います。夕焼けの風景や季節の花などが好きなので、これからも四季を感じる写真を撮っていききたいです。
【撮影データ】絞り4.5 シャッター1/50 ISO400

うじの かのり
宇治野 香さん(32) 国分、写真歴2年



写真クラブからの投稿写真紹介「スナップ×スナップ」

秋の訪れ



9月中旬の午前7時頃、国分の台明寺溪谷公園へ行く途中にヒガンバナを見つけました。朝露にぬれたヒガンバナの周りを黒アゲハチョウが飛んでいて、ちょうど花に止まったところをマクロレンズで撮影。ピンントを合わせるのが難しかったです。カメラを始めて1年、撮影を通して霧島の魅力を見つけていきたいです。
【撮影データ】絞り5.6 シャッター1/100 ISO100

なかむき ゆういち
中向 裕一さん(65) 国分、写真歴1年

山岳救助訓練で連携を確認



山で行方不明者が出たことを想定した山岳訓練が9月11日、大浪池周辺でありました。訓練では市消防局と消防団、県消防防災航空隊が連携。GPSや地図などを活用した捜索やヘリでの救出など一連の救助活動を実践しました。馬場勝芳消防局長は「互いの連携をスムーズにし、行方不明者の早期発見、救出に努めていきたい」と力を込めました。

ひょうきやま
表木山駅100周年を祝福



隼人町嘉例川にあるJR肥薩線の表木山駅が9月11日、大正5(1916)年の開業から100周年を迎えました。当日は表木山自治会が駅ホーム内に設置した記念碑の除幕式があり、地域住民やその子ども、孫など約40人が節目の日を祝いました。自治会長の上村孝二さん(69)は「これからも地域で駅周辺をきれいにし、大切に守っていききたい」と話しました。

たかぜ
竹子の道を歩いて楽しむ



「第8回竹子ふるさとウォーク」が9月18日、溝辺町であり152人が参加しました。あいにくの雨模様でしたが、参加者らは道路沿いのヒガンバナを眺めたり、ふくれ菓子などの地域のおもてなしを楽しんだりしました。牧園町の宮崎雅之さん(58)は「コースはきつかったですが、花もきれいでおもてなしもうれしかったです」と笑顔を見せました。

きりしまタイムズ

The Kirishima Times



小浜小の児童が
楽器に親しむ

鹿児島大学校友会管弦楽団による演奏会が9月7日、小浜小学校であり、同小の児童や地域住民約60人が「白鳥の湖」など9曲を鑑賞。チェロなどの楽器に触れる時間や指揮者の体験などがありました。初めてバイオリンを弾いた同小4年の本田明さん(8)は「音を出すのが難しかったけど、楽器への興味が湧いてきました。指揮者も体験できて、とても楽しかった」と喜んでいました。

福山中央地区の
防災計画策定



自助・共助による地域の防災力を高めようと、福山中央地区自治公民館が9月12日、県の支援を受けて地区防災計画の策定を始めました。来年の3月までに5回開催し、地域の実情に合った防災計画を策定します。県地域防災アドバイザーの村野剛さん(55)は、「地域の特徴や意見を出し合い、みんなで作り上げることが大事」と参加した地区のまちづくり委員に呼び掛けました。

和太鼓の競演で
観衆を魅了



県民文化フェスタ「和太鼓の祭典」が9月11日、市民会館で開催。約1,000人の観衆が太鼓の競演に熱狂しました。県内から9団体約150人が出演。平山やまびこ太鼓に出演した富隈小6年の仮屋園工葵くん(12)は「お客さんが多く緊張しましたが、楽しく演奏できて良かった」と話し、隼人町から訪れた平嶺百合子さん(65)は、「どの団体も素晴らしい演奏で大満足でした」と興奮気味に話しました。

海外へ派遣
福祉分野に生かす



福祉分野などに携わる人が海外の先進地で学び、地域や職場に生かす内閣府の「地域コアリーダープログラム」に、国分の介護施設で働く川畑裕二さん(38)(写真中央)が選ばれました。イギリスへの渡航を前に9月14日、市役所を表敬訪問。川畑さんは「職場などに生かせるよう、しっかりと学びたい」と意欲を見せました。派遣期間は10月9日から18日まで。現地の福祉施設などを訪問し、職員と意見交換を行います。

卓

球日本代表の登竜門といわれる全農杯全日本選手権大会。今年7月に神戸で行われた同大会バンビ(小学2年以下)男子の部で、優勝したのは青葉小学校1年の岩井田駿斗君(6)です。

卓球との出会いは4歳のとき。兄・雄斗君(10)が、国分の誠卓球CLの練習見学に行ったのがきっかけでした。一緒に見学していた岩井田君は「面白そう。お兄ちゃんがするのなら」と卓球を始めます。

試合の相手は岩井田君よりも体の大きい上級生で、最初の1年は1勝もできませんでした。そこで大好きな日本代表の水谷隼選手の試合をテレビで見るとはフォームのまねをしたり、卓球は左手が有利だと聞いてはラケットを持つ手を左に変えたりしました。次第に試合に勝つようになり、勝つ喜びに目覚めます。

誠卓球CLの練習は毎日3時間以上。



父・崇さん(37)

一生懸命練習に打ち込み、大好きな選手の試合がテレビであるときぎ付けになる姿を見てきました。周囲の方への感謝を忘れず、夢に向かって頑張ってください。家族みんなので応援しています。

スマッシュを武器に世界の舞台へ

全農杯全日本選手権大会
バンビ(小学2年以下)男子の部で優勝



試合さながらの練習に励む岩井田君



未来の夢を追う子どもたちの今を描きます

このコーナーでは、各分野で活躍する子どもたちを紹介します。夢に向かって頑張る子どもたちを、ぜひ応援してください。



青葉小学校1年
岩井田駿斗君(6)
卓球練習以外に、学習塾に通う。休日に友達と鬼ごっこなどで遊ぶのが好き。

中高中生や大人に交じり、小さな体で汗をかきながらスマッシュやラリーなどの練習に励みます。「練習が多くて嫌になることがあるけど、卓球が大好き。試合に勝ちたいから、毎日、練習を頑張ります」とはにかみます。

試合で負けそうになると悔し涙を流すことも。そんなとき「泣いたら試合にならない。ボールも見えないぞ」という監督のげきに、涙を拭き奮起します。

県外での試合も多く、家族も全力でサポートします。母・優子さんは、試合のときは兄弟の大好きな空揚げを弁当に詰め応援。父・崇さんは2人が誠卓球CLに入ると同時に自身も入会、可能な限り練習に参加して見守ります。来年はナショナルチーム(日本代表)入りも決まり、さらに練習にも熱が入る岩井田君。「夢はオリンピックで金メダルを取ること。水谷選手のように活躍したい」と目を輝かせます。

小さな体から繰り出されるスマッシュを武器に、世界の舞台へ新たな一歩を踏み出します。

なぜか元気になる

思い出の味



FMきりしま(周波数:76.9MHz)で、この「思い出の味」を鹿児島弁で紹介します。
●放送日時=10月20日(木)午後3時30分~10月21日(金)午前10時30分~
●コーナー名=「SHIKOと堀ちゃんのかごつま弁で語りもんそお」

Recipe(レシピ)

【材 料】 サツマイモ…250g、砂糖(ざらめ)…50g、黒ゴマ…少々、水…50cc

- 【作り方】
- ① サツマイモの皮をむき、ひと口大の大きさに切り、1時間ほど水につけあくを取る。
 - ② 揚げ油を180℃に熱し、水を切ったサツマイモを入れ、型崩れしないように優しくかき混ぜる。
 - ③ サツマイモがきつね色になり浮いてきたら、網で油を切り、ポウルに移す。
 - ④ お湯を沸かした別の鍋でざらめを溶かし、とろみがつくまで煮詰めた後、少し冷やす。
 - ⑤ ③に④を入れ、かき混ぜる。お好みで黒ゴマを降る。

大学いも

「夫 と作るサツマイモ栽培は大好きです」と笑顔で話すのは牧園町の的場ユリ子さん(82)です。

24歳のときに農家の正さん(80)と結婚した的場さんは、夫婦で焼酎の原料となるサツマイモ「コガネセンガン」を栽培し、酒造会社に納めていました。

しかしサツマイモ栽培は重労働。的場さんは16年前、66歳の時に腰の痛みなど体力的な問題で作ることを断念します。それでも約40年間夫婦で作ってきたサツマイモと代々受け継いだ畑は残したいと思い、3人の娘に相談。「家族が食べる分だけでも作って大学いもにしてみては」とアドバイスを受け早速行動に移します。

的場さんの大学いもへのこだわりは、子どものように大事に育てた自慢のサツマイモの風味や甘さを生かすこと。品種を大学いも作りに適した「紅はるか」に変え、作り方も試行錯誤を重ねます。

最初は揚げる時間が分からずイモを焦がしたり、型崩れ

優しさあふれる「大学いも」



◎牧園町下中津川の的場ユリ子さん(82)

したりしたことも。娘と一緒にさまざまな市販の大学いもの味も参考にして、納得のいく味に仕上げました。

「新しいことへの挑戦はとても新鮮でした。家族で作った大学いもは、私の新たな生きがいになりました」

その大学いもは、自治会の集まりや孫の吹奏学部の演奏会などで食べてもらったことがきっかけで評判を呼びます。姉の勧めで、牧園町特産品協会での販売も始めました。さらに霧島国際音楽祭のビュッフェパーティーでは10年以上振る舞い、的場さんの大学いものファンも多いとのこと。

「今では大学いも作りが日課。私の健康もサツマイモのおかげ」とほほ笑みます。

地域や家族に愛される大学いも。サツマイモと長年歩んできた的場さんならではの、とても優しい味がします。

霧島市には意外と知られていない魅力がたくさんあります。このシリーズ「I♥霧島(アイラブ霧島)」では、霧島市の楽しい場所や、その知られざるディープな魅力を紹介し、皆さんも霧島市の新たな魅力を知って、たくさんの人にPRしてください。

I♥アイラブ霧島 6

単人町の神代(かみよ)の道は歴史と神話が薫る散策ルートです。その中でも石體神社は、お産の軽かった豊玉姫を安産の神様として祀っており、年間約5千人の妊婦が安産祈願に訪れます。その近くには単人の歴史を学べる単人歴史民俗資料館があります。



戌の日に家族が集まる石體神社

商売の神と信仰される蛭児(ひるこ)神社周辺は大隅の国の景勝地だった場所です。西郷隆盛が滞在したとされる屋敷「西郷どんの宿」もあり、秋を感じながら、神代の道を散策してみませんか。



霧島市シルバー観光ガイド 松下里美さん(65)

体験の様子をケーブルテレビで放送します。

- 放送日時=10月12日(水)~14日(金)、19日(水)~21日(金) 午前3時~9時、正午~午後4時~8時、11時~
- 番組名=南九州ケーブルテレビ「情報マルシェ」



こちらの2次元コードからも視聴できます
アイラブ霧島 検索

若者の若者による、若者のためのコーナー Link 20

市内で活躍する若手アーティストをリレー形式で紹介するコーナー。今回は、先月号のイラストレーターの坂口みどりさんの紹介で、山師の田中佑樹(31)さんです。

田中佑樹さんの作品を見て触れて体験してみませんか。

picnic market

- 日時=10月16日(日)午前10時~午後4時(雨天決行)
- 場所=北薩広域公園(さつま町) 園=事務局 ☎090(4982)8583

オーガニックフェスタ

- 日時=11月19日(土)、20日(日) 午前10時~午後4時(雨天決行)
- 場所=ドルフィンポート前広場 園=事務局 ☎099(258)3374



木のぬくもりを未来へ伝える

森の中にチェーンソーの音を響かせて作品を作るのは、林業や有害駆除を担う山師の田中佑樹さん(31)です。雑木などを使い、イヤリングやネックレスを掛けるホルダー、スウェーデントーチ(木のコンロ)などを手掛けています。ほかにも県内各地で数珠球とビーズを使ったプレスレット作りやまき割り、焼きいも作りなどの体験イベントを行う田中さん。子どもたちとツリーハウス造りを通した環境教育にも積極的に取り組んでいます。

め不可欠なことです。田中さんは山で働き、環境に貢献できる喜びをかみしめる一方、後継者不足による森林放置が進んでいることに胸を痛めます。「作品に雑木を使うのも森林資源を大切にしたいと思ったから。雑木も山の恵み。無駄なものは一つありません」と切り落とした木々に目を落とします。

田中さんが木に興味を持ったのは高校3年のころ。山が環境問題の解決に大きく貢献していることをニュースや本で知ったのがきっかけでした。木を植える仕事をしたいと県外の造園専門学校で2年間学び、林業の道へ。23歳のときに、自然豊かで住みやすさを感じた霧島へ移住します。「山は毎年季節とともに装いを変えてくれるのも魅力です。林業は親子三世代でできる仕事。『山業愛山。山を業とし、山を愛する』がモットー」と目を輝かせます。

もっと多くの人に木に触れてもらおうと、今年は湧水町で開催されるチェーンソーアート大会に参加予定。山の中でリフレッシュしながら練習に励んでいます。「作品や体験を通じて山の素晴らしさと大切さに関心を寄せてほしい」と力を込める田中さん。これからも木を生かした作品を手掛けながら、自分の活動できる山を求め、山と人が共生する未来のため活動を続けます。



田中 佑樹さん(31) 鹿児島市出身。まさスラブで木のぬくもりを感じることが楽しみ。霧島の温泉でリフレッシュする。単人町に妻と息子の3人暮らし。

シリーズ第6弾は、「岩田帯(腹帯)」発祥の地石體神社周辺の魅力を紹介します。 神代の道「石體神社周辺散策」

I♥ POINT 1



石塔の小石
石體神社の石塔から小石を持ち帰ると、元気な子を授かるという言い伝えがあります。無事にお産がすんだら持ち帰った小石と河原の清浄な小石を、お礼参りのときにお返しする習わしがあります。

I♥ POINT 2



西郷どんの宿
西郷隆盛が狩りや釣り、温泉などを楽しんだ日当山温泉郷。そのときに宿泊した農家・龍宝家の屋敷を平成元年に移設して当時のまま復元しています。

I♥ POINT 3



蛭児神社
江戸時代までは鹿児島神宮に次ぐ格式の神社とされ、二之宮大明神と呼ばれていました。御祭神を恵比寿と唱え、福德の神、漁業・航海・商売の神として信仰されています。

問=霧島市シルバー人材センター ☎(42)8585

I♥クイズ

「うんだもこら いけなもんや」で始まる「茶わんむしの歌」の発祥の地はどこでしょう。

※答えは下部に掲載しています。

霧島シルバー観光ガイド

シルバー観光ガイドが石體神社周辺の魅力を案内します。

- 受付時間=午前9時~午後5時
 - 所要時間=1時間30分~2時間
 - 案内料=1人につき300円
- ※浜之市周辺、国分周辺も案内しています。
問・申=霧島市シルバー人材センター ☎(42)8585



みんなが褒め合うまちへ

今月のクリシマイスター

褒めて伸ばすを合言葉に始まった「クリシマイスター」。霧島市を大好きな人たち「クリシマイスター」が認定する、まちの魅力を紹介します。



私は城山公園を絶景マイスターに認定します。
クリシマイスター 三宅 伴美さん(園分)



星7つの絶景

◎城山公園から見た風景
市街地や桜島などが見渡せるビューポイント。季節や時間によっていろいろな表情を見せる景色は、まさしく絶景。

クリシマイスター
http://www.kirishimeister.com
クリシマイスター 検索

溝 辺町竹子に広がる17棟のビニールハウス。中には市花弁振興会長でユリ農家の鮫島健次さん(65)が大事に育てているユリが広がっています。平成19年に県フラワーコンテスト金賞を受賞し、その後も入賞。現在、年間10万本を出荷しています。

生まれも育ちも岡山県の鮫島さんは高校卒業後、地元の自動車関連会社に就職。自動車部品の品質管理や生産工程の管理などを担当しました。転機が訪れたのは平成13年、50歳のとき。円高の影響で会社が危機的状況に陥ります。課長だった鮫島さんは、社長から3か月で136人のリストラを任せられます。「部下の将来や家族のことを思うとつらかった。どうしたら誠意を尽くせるのか頭がいっぱいで夜も眠れませんでした」と振り返ります。気管支喘息や十二指腸潰瘍、帯状疱疹になり、心身共に疲れ果てたといいます。

そんなとき次女の恵美子さんがバレーボールで全国高校総体に出場、応援のため開催地の熊本県人吉市へ行きました。そこで応援に駆け付けた溝辺町に住む親戚からユリ栽培の話聞き、興味を湧いた鮫島さんは応援が終わった後、早速溝辺町の農園を訪ねます。

「霧島の雄大な自然に魅せられました。リストラの苦しかった出来事が頭を駆け巡り、こんな素晴らしい場所ですユリを育てて暮らせたらという思いが芽生えました」

妻・美智子さん(64)は、リストラで疲れ果てていた鮫島さんの思いを聞き「今まで会社のため、家族のために頑張ってくれたんだから、これからはお父さんの好きなことをやったら」と背中を押します。岡山に戻り、リストラする社員全員の再就職先を見つけた後、自らも退職。2か月後には単身溝辺町に移住し、地域のユリ農家を手伝いながら日置市の農業大学に通い、1年間就農に必要な技術を学びました。翌年には子どもが高校を卒業したのを機に、美智子さんも鮫島さんの元へ。夫婦でのユリ栽培が始まります。平成16年、52歳のときにビニールハウスを3棟設置。経営が軌道に乗りに掛けた矢先、悲劇が起こります。台風で2棟が全壊してしまつたのです。

「一瞬で700万円のお金が消え、ぼうぜんとして言葉も出ませんでした。再建しようにも1円も貸してくれる銀行はありませんでした」

一度は諦めようと思ったユリ栽培ですが、そんなとき救ってくれたのが地域の人たちの手伝いや励ましでした。「台風の後片付けや食事の差し入れ、新たな販路や融資制度も紹介してくれてありがたかった。地域の温かさを感じて、溝辺町に骨をうずめようと決め

人の風景

THE SCENE Vol.115

霧島に生きる

ユリと共に 第二の人生を歩む



鮫島 健次さん(65)
岡山県倉敷市出身。30年間、自動車関連会社に務めた後、溝辺町へ移住しユリ農家へ。公民館長、市商工会理事、県農協花市場理事などを務める。後継者育成にも力を入れ、鮫島さんの元には研修生が学びに来ている。

ました」と振り返ります。

鮫島さんのこだわりは「土づくり」。米ぬかと太陽熱を使い、病害虫の増殖を抑える方法でユリの品質向上に努めています。現在、溝辺町の物産館よこでーろや、きらく館、鹿児島花市場に出荷。口コミから鮫島さんのユリを求めて、直接農園を訪れる人もいます。意外と男性の購入者も多く「ユリを見て笑顔になってくれるとうれしい」とほほ笑みます。

地域への感謝を胸に、ユリ農家という第二の人生を歩む鮫島さん。「人の心を和ませるユリを作っていきたい」と話すその顔は、苦難と共に歩んできたユリへの愛情にあふれていました。

マンデーロ(オリエンタルユリ的一种)を手にほほ笑む鮫島さん。Tシャツには、苦楽を共にしてきた鮫島さんと美智子さんの笑顔がプリントされている

私が選ぶ絵本100
マイルスタツフ 編

冒険心をくすぐる絵本、水辺の絵本など、絵本に詳しいちよつと個性的な人たちが、10冊ずつ絵本を紹介しています。



シルバー川柳
元氣百倍編
みやぎシルバーネット 編

60歳から90歳代のシルバー世代から寄せられた、シルバー川柳傑作選。



ゆけ、おりよう
門井慶喜 著

坂本龍馬と結婚したおりよう。寺田屋で龍馬の命を救ったおりようは、日本初のハネムーンで薩摩へ。



わるわるイッサイ
佐々木 マキ 作

悪いサイが、みんなに迷惑を掛けながら走っていきます。女の子と動物たちは協力をして、サイにわなを仕掛けることに...



図書館へ行こう

<http://www.lib-kirishima.jp/>

イベント案内 国分図書館読書まつり

- 本からはじまる学習活動推進運動
- 日時=11月13日(日)午前9時45分~午後3時
 - 場所=国分図書館、メディアセンター前ロビー
 - 内容=おはなし会、本のリサイクル市、楽しい工作、縄文体験どんぐりアートほか

リサイクル市の本を募集しています

- ご家庭で読み終わった本や不要な本を、読書まつりのリサイクル市に出してみませんか。
- 受付期限=10月31日(月)まで
 - 受付場所=国分図書館カウンター
 - 受付できる本=一般小説(単行本・文庫・新書)、実用書、児童書
 - 受付できない本=雑誌、コミック、全集、事典・辞書、問題集、破損・汚損・落書きなどがある本、図書館などで廃棄された本
- 問=国分図書館 ☎(64)0918



郷土史への扉



これまで、天降川川筋直しと宮内原用水路について紹介しました。今回は、これらの治水工事がその後、当地域や薩摩藩にどのような影響をもたらしたのかについて紹介します。

川筋直し後の国分平野

天降川の川筋直しの完成は、国分平野にどのような変化をもたらしたのでしょうか。

- ① 河川の氾濫がなくなった。
- ② 新たに約四〇〇鈔の水田ができた。
- ③ 麓(国分中央)、府中、広瀬などへの行き来が容易となった。
- ④ 城下町の拡大が可能となった。

このように、国分地域は、地形の変化に伴い水害のない安心で安全なまちへと大きく変わり、新田による農業の振興、城下町や道路などの整備に伴う流通経済の向上などにより、それまで以上に発展していきました。

水田が完成するには「享保元(一七二六年、国分の国分郷新田完成)」の記録によると、約四〇〇鈔の河床の整地や道路、用排水路の整備などに、約五十

年の歳月を要したことが分かります。

宮内原用水で見る土木技術

宮内原用水の完成によって、これまで畑地でしか利用できなかった約四三六鈔の耕作地が水田に変わり、地域の人々を大いに潤しました。

この工事で注目されるのは、土木技術の高さです。宮内原用水の主要部分の勾配は千鈔分の五十鈔、つまり二キロで一メートル下がるという極めて平坦な勾配

宮内原用水 完成三〇〇年 その③

治水工事もたらしたものの

でした。しかも山の地形に合わせて水路が曲折していることや用水路の行程の大部分が溶結凝灰岩であり、これを通って水路を造ることを考え合わせると、当時の測量技術の正確さと土木技術の高さに驚かされます。

また、用水路の途中の嘉例川と西光寺川の川底を通す「潜り」という工法や、幅広い水路の崩落を防ぐための二穴の隧道は、一見コストが掛かり難工事と思われませんが、完成後の維持管理

を考慮すると非常に経済的な工法であったことが分かります。

薩摩藩の土木技術

天降川川筋直しや宮内原用水の整備をはじめとする江戸時代初期から薩摩藩領内で行われてきた土木事業は、災害に強いまちづくりや、多くの美田を提供し、地域住民や薩摩藩を潤しました。

薩摩藩領内の治水工事などで培われた土木技術は、その後、宝暦五(一七五五)年の岐阜県の本曾三川治水工事に生かされます。

本曾三川とは、岐阜県南西部から愛知県北西部にかけて広がる濃尾平野を流れる本曾川・揖斐川・長良川のことです。当地域はこの河川の氾濫によって毎年のように水害が発生していました。薩摩藩はこの本曾三川の治水工事を江戸幕府から命じられ、多くの犠牲者を出し巨額の資金を費やして完成しま



本曾三川の川筋(提供:海津市)

した。手伝い普請は、幕府が各藩の経済力を削ぐ政策とされていますが、果たしてそれだけの理由で薩摩藩に命令したのでしょうか。

本曾三川治水工事は、天降川川筋直しから八十八年、宮内原用水完成から三十八年が経過して行われました。工事で用いた土木技術は、江戸幕府役人が指示した工法もあるでしょうが、薩摩藩内で培った技術が基礎となり、大いに役立ったのではないのでしょうか。

今年、天降川川筋直し三五〇年、宮内原用水完成三〇〇年の節目の年に当たります。この二つの大事業の背景にある治水・防災・灌漑、土木技術などについて、あらためて顕彰することで、当時の人々の思いを考えるよい機会になるのではないのでしょうか。

(文責:鈴)

お知らせ

議員と語るかい

市政に対する質問や地域の課題などはありませんか。議員が地区に伺い、議会の活動状況を報告し、地域が抱えるさまざまな問題を市民の皆様と一緒に考え、意見交換をします。

月日	会場
11/ 8 (火)	霧島 霧島公民館
	横川 紫尾田活性化センター
11/ 9 (水)	国分 福島地区コミュニティ併用施設
	牧園 万膳地区公民館
11/10 (木)	国分 国分西の里コミュニティセンター
	国分 府中公民館
11/11 (金)	隼人 姫城地区公民館
	福山 福山公民館

●時間=午後6時30分～8時

霧島ふるさと祭2016

市内の特産品や産業製品な

◎問||議会事務局☎(64)0922

どを展示・販売します。今年も、水素・再生可能エネルギーフェアと同時開催し、親子再エネ工作教室などもあります。

●日時||11月5日(土)、6日(日) 午前10時～午後4時
 ●場所||国分シビックセンターお祭り広場駐車場
 ◎問||霧島ふるさと祭実行委員会☎(48)6620

消防フェスタinきりしま

レスキュー体験や少年消防クラブ員による演技披露、子ども用消防服を着用した記念撮影会などがあります。楽しみながら消防、防災について学んでみませんか。
 ●日時||11月6日(日) 午前9時45分～午後2時(雨天時はプログラムの変更あり)
 ◎問||消防局予防課☎(64)0433

市戦没者追悼式

先の大戦における戦死者と戦没者を追悼するとともに、平和を祈念します。どなたでも参列できますので、多数の

参列をお願いします。

●日時||11月18日(金) 午前10時から
 ●場所||隼人農村環境改善センター
 ◎問||保健福祉政策課☎(64)0904

KIRISHIMA HAPPYハロウィン

お化けやアニメキャラクターなどの仮装コンテスト、キッズパレード、ダンス、バンド演奏などがあります。コンテストやパレードの参加者も募集しています。詳細は問い合わせください。

●日時||10月22日(土) 午後5時～9時、23日(日) 午前10時～午後5時
 ●場所||国分シビックセンターお祭り広場
 ◎問||KIRISHIMA HAPPYハロウィン実行委員会☎(47)3773

隼人駅東地区土地区画整理事業の事業計画を変更

施行期間と資金計画の変更に伴い、事業計画(第2回変

あなたの健康習慣にイエローカードが出ていませんか



平成26年の県内の脳卒中の死亡率は全国平均の1.5倍で、全国第9位と高く、脳卒中は市の死因第4位です。喫煙や運動不足、肥満などの生活習慣が脳卒中の原因の一つに挙げられています。

糖尿病などの生活習慣病により慢性腎不全になる人も毎年増加しています。

このように県内の健康状況には、まさしくイエローカード(警告)が出ている状態です。

10月は「かごしま健康イエローカードキャンペーン強化月間」です。後悔する前に健康について考え、生活習慣を見直してみませんか。

◎問=健康増進課 ☎(64)0905

市民活動支援事業の補助事業成果報告会

市では共生・協働のまちづくりを進めるため、市民の皆さんから公益的な事業の企画を募集し、経費の一部を補助しています。平成27年度に採択された団体が成果を発表します。傍聴希望者は、申し込

時30分)
 ●入場料||一般4000円、学生2000円(全席指定)
 ※未就学児は入場不可。
 ◎問||みやまコンシェル☎(78)8000

漁法の禁止区域期間の追加

天降川での漁法の禁止区域と期間に、追加がありました。

漁法	区域	期間
全漁法(投網を除く)	霧島川合流点から日当山橋まで	10/15～11/30
投網	霧島川合流点から泉帯橋下流の関より100m下流まで	10/15～12/31

◎問||日当山天降川漁業協同組合☎(42)6063

霧島神話の里公園「きりしま紅葉まつり」

霧島九面太鼓の演奏やポン菓子、ねったほの振る舞いなどをを行います。

うそ電話詐欺に注意



今年1月から8月末現在で、県内の「うそ電話詐欺」被害は計25件、被害額は約8,780万円。被害者の約6割が、65歳以上の高齢者です。

電話で市役所職員や銀行員などをかたり、還付金があると言ってATMに誘導。犯人の指示どおりにATMを操作して現金をだまし取られたり、電子マネーなどで支払いを要求されたりする架空請求詐欺など、さまざまな事例があります。

「うそ電話詐欺」の被害に遭わないために、次のことに注意してください。

- 「還付金がある」といった電話や身に覚えのないメール、電話、はがきが来たときは、詐欺を疑い無視しましょう。レターパック、宅配便で「金を送って」は詐欺です。
- 「ATMに行ってください」「金を受け取りに来ます」は詐欺です。
- 官公庁職員や銀行員などがATMに誘導したり、ATMの操作を指示したりすることはありません。ATMに行くよう指示されたときは、家族や警察に必ず相談・通報してください。

◎問=安心安全課 ☎(64)0997

更)の公告を行いました。事業計画書は区画整理課で閲覧できます。

◎問||区画整理課☎(64)0989

農作業中の事故に注意

農作業の繁忙期には農作業事故が多発します。次の点に注意して作業しましょう。
 ・出掛ける際は、家族などに一声掛け、携帯電話を持っていく人は持って出る。
 ・作業に合った服装と防護服

みやまコンシェル 自主事業

●鹿児島音楽フェスティバル「みやまの森の響き」
 全日本吹奏楽コンクールの常連校・熊本県の玉名女子高校吹奏楽部が出演。高千穂小学校金管バンドや舞鶴中学校

募集

8020運動の達成者を募集します

第10回霧島市健康福祉まつり(2月5日開催)で、80歳以上で自分の歯が20本以上残っている人を表彰します。該当する人は、始良地区歯科医師会の霧島支部に加入する医療機関で、「8020運動」に参加することを伝えて診査を受けてください。加入医療機関など詳細は、問い合わせください。

●対象||11月30日時点で、80歳以上で自分の歯が20本以上残っている市内在住者(これまでに表彰を受けていない人のみ)
 ●診査料||無料
 ●診査期間||11月1日(火)～30日(水)
 ◎問||健康増進課☎(64)0905

メディアセンター 主催講座

講座番号	講座名	日時	受講料	申込期限(必着)
37	仕事に役立つエクセル基礎講座	11/8(火)、9(水) 18:30～20:30	500円	10/25(火)
7	ワード2010入門講座	11/15(火)、16(水) 9:30～15:30	1,000円	11/ 1(火)
8	ワード2010ステップアップ講座	11/17(木)、18(金) 9:30～15:30	1,000円	11/ 1(火)

●定員||各講座20人(申し込み多数の場合は抽選)
 ●申込方法||往復はがきに講座番号、講座名、住所、氏名、電話番号を記入し郵送
 ●受講決定||はがきで通知
 ◎問・申||メディアセンター☎(64)0919、〒899-4394 国分中央三丁目45-1



※問=問い合わせ先 申=申し込み先 提=提出先 応=応募先
 ※健マ=「健康マイレージ」対象の事業(20歳以上が対象)
 健康マイレージについての問い合わせは、健康増進課健康づくり推進室 ☎(64)0905

きりしま歴史散歩
「石碑拓本作り」



石造文化財の調査に必要な拓本の採取を体験しませんか。
 ●日時 11月20日(日)午前9時～正午
 ●場所 国分郷土館
 ●定員 20人(申し込み多数の場合は抽選)
 ●参加料 1,000円
 ●申込期限 11月4日(金)
 ◎問・申 文化振興課 ☎(42)1119

サン・あもり自主講座

きれいに名前を書く講座
 ●日時 11月4日(金)午後1時～3時30分
 ●対象 成人男女
 ●定員 先着20人
 ●準備 筆ペンかボールペン、鉛筆
 ●受講料 600円
 ●受付 10月14日(金)から
 ■お母さんのための心通わすコミュニケーション講座
 ●日時 11月25日(金)午前10時～正午

天降川地区共同
利用施設自主講座

やさしい健康体操！～転倒予防と筋力アップ～
 ●日時 11月10日～12月1日(毎週木曜・全4回)午前10時～11時
 ●対象 成人男女
 ●定員 先着20人
 ●準備 バスタオル、タオル、飲み物、動きやすい服装
 ●受講料 2,000円
 ●受付 10月17日(月)から
 ■大人のための珈琲の愉しみ～自宅でカフェ気分ハンドドリップ講座～
 ●日時 11月16日(水)午前10時～正午
 ●準備 マグカップ、エプロン
 ●対象 成人男女
 ●定員 先着20人
 ●受講料 1,100円
 ●受付 10月17日(月)から

天降川地区共同
利用施設 ☎(43)1951
就職支援セミナー

面接の心得や履歴書作成のポイントなどを教えます。事前に申し込みが必要です。
 ●日時 10月29日(土)午後2時～4時
 ●場所 霧島わかものハローワーク(イオン準人国分店内)
 ●対象 おおむね45歳未満でハローワーク国分で求職登録した人
 ●定員 先着6人
 ◎問・申 霧島わかものハローワーク ☎(64)2251

市景観計画変更(案)
意見募集

急増した大規模な太陽光発電事業に対し、市では設置する際の具体的な基準を設けた景観計画の変更を検討中です。計画策定の参考とするため意見を募集します。
 ●公開方法 市ホームページ、国分シビックセンター情報公開室、都市計画課、準人地域振興課、各総合支所地域振興課、福山市民サービス

NHK「つっぽん縦断
ふる旅」エピソード募集

「つっぽん縦断こころ旅」は、俳優の火野正平さんが、人々の心にある風景とエピソードを元に、自転車旅をする番組です。
 皆さんの「思い出の風景」「忘れられない風景」「みんなに伝えたい風景」など霧島市のエピソードを募集します。
 ●応募方法 住所、氏名、性別、年齢、電話番号、思い出の場所、場所にあつわるエピソードを記入し、番組ホームページから投稿、または郵送、ファクスで。
 ※風景の写真もあれば同封してください。
 ●応募期限 10月31日(月)必

龍馬とお龍の
休日霧島

龍馬とお龍の霧島来訪150周年を記念し、黒豚1頭やベア宿泊券などが当たるイベントを行います。
 対象施設で、龍馬とお龍に扮した人からスタンプを押してもらい応募しましょう。
 詳細は市ホームページをご覧ください。
 ●期間 11月1日(火)～30日(水)
 ◎問・申 実行委員会事務局(観光課内) ☎(64)0895

龍馬ハネムーン
ロードを歩こう

紅葉を見ながら、龍馬とお龍が日本最初の新婚旅行で歩いた道を歩きましょう。
 ●日時 11月13日(日)午前8時～午後3時30分

第28回市民健康講座

市立医師会医療センターの医師や看護師などが「がんとうまく付き合うために」がんの総合ケア」と題して講演します。野菜たっぶりヘルシーメニューの展示、試食もあります。
 ●日時 11月5日(土)午前10時～11時30分(開場 午前9時30分)
 ●場所 準人農村環境改善センター
 ●入場料 無料
 ●申込方法 電話かファクス
 ●申込期限 10月28日(金)
 ◎問・申 健康増進課 ☎(64)0905、FAX(64)0946

就職を目指す
55歳以上の調理補助講習

ハローワークで求職登録している55歳以上の人を対象に、調理補助講習を行います。介護施設や給食センターなどの調理分野での就職を目指します。
 ●日時 12月5日(月)～15日(木)午前10時～午後4時
 ※金土日曜を除く全8日間。
 ●場所 市働く女性の家
 ●定員 20人(申し込み多数の場合は抽選)
 ●受講料 無料
 ●申込期限 11月21日(月)
 ◎問・申 東京リーガルマインド ☎099(214)2140

平成28年度陸・海・空
自衛官候補生募集

受験資格 平成29年4月1日現在で、18歳以上27歳未満の男性
 ●受付期間 10月24日(月)～11月30日(水)
 ●試験日 12月10日(土)
 ●試験会場 陸上自衛隊国分駐屯地

相談

●合格発表 12月22日(木)
 ●採用日 平成29年4月1日(土)から
 ◎問 自衛隊鹿兒島地方協力本部 国分地域事務所 ☎(45)1836

人権相談
 人権擁護委員が家族間の問題、財産・相続の問題、差別いじめなどさまざまな人権に関する相談に応じます。(相談無料)
 ●相談日/場所
 ・11月8日(火) / 牧園老人福祉センター
 ・11月9日(水) / 霧島総合支所
 ・11月15日(火) / 横川健康温泉センター
 ・11月17日(木) / 国分総合福祉センター
 ●時間 午前10時～午後3時
 ※鹿兒島地方支務局霧島支局では、平日の午前8時30分から午後5時15分まで常設相談所も開設しています。
 ◎問 鹿兒島地方支務局霧島支局 ☎(45)0064

国際交流員と交流しよう

コース名	内容	日時	場所	定員	受講料	申込期限
英語でティータイム	英語で話をしながら、ティータイムを過ごします。*参加は英語初級レベル以上の人に限ります。	11/9(水) 14:00～15:00	国分公民館 調理実習・ 調理講義室		無料	11/8(火)
国際料理キッチン	韓国の料理「ヤンニョムチキン(甘辛空揚げ)」を作ります。	11/10(木) 17:30～20:30	国分公民館 調理実習・ 調理講義室		600円	11/2(水)
English Hour	自分に合ったレベルで、楽しく英語で会話をします。*参加は1人1つのレベルに限ります。	初級 11/14(月) 18:00～19:00 中級 11/14(月) 19:10～20:10 上級 11/21(月) 18:30～19:30	国分公民館 中研修室	先着15人	無料	初・中級:11/10(木) 上級:11/17(木)
中国語教室	天気に関する言葉や表現を楽しく学びます。	11/17(木) 14:00～15:00	国分公民館 小研修室		無料	11/15(火)
韓国語教室	「1つ、2つ、3つ…」の数え方を覚え、数字のゲームをしながら楽しく勉強します。	11/17(木) 18:30～19:30	国分公民館 中研修室		無料	11/15(火)

●対象=市民 ※電話か市ホームページから申し込みください。キャンセルの場合は、前日までに連絡してください。
 ◎問・申=企画政策課 ☎(64)0914

キ リシマイスター制度が始まりましたね。私が勤務する会社でも、1日に一つ、社員のいいところを褒める、伝える、文字にする、言葉にするということを実践しています。皆さんが書かれた文書を見ていると、普段自分が知っていることができなかつた視点から、新たな発見をすることが出来ます。自分が褒められるとうれしい、人を褒めると、もっとうれしいということに気付かされます。霧島の人・場所・物の魅力を市民全員で探していけたらいいですね。(いぶむあ 29歳女性)

キリシマイスターのPR動画も公開中です。霧島市ホームページからご覧くださいね。拡散よろしく願います。

褒 めて伸ばす。遠い昔、子育てをしていたころには痛感することでした。今は脳出血の後遺症でリハビリに取り組む主人をひたすら褒めています。車椅子だった主人はついで歩けるようになり、80歳を前に夫婦で旅行を楽しむ

とせいたくなくしょう。子どもたちは中高校生や女性が終始笑顔絶やさずに太鼓を打ち続ける姿に感動していました。11月も全身にパワーをもらいに行きたいと思います。**YUKARI** 36歳女性

● 次回は11月18日、午後8時30分開演です。入場無料。詳しくは市観光協会(☎78-2115)に問い合わせください。

夏 休みもあと2日で終わりという8月30日、思いがけない大きな別れが来ました。民謡踊りの仲間であり、習い事もいつも一緒だった先輩のYさんが、敬老会で踊るための練習中に気分が悪くなり、そのままの別れとなりました。Yさんの口癖だった「ピンピンコロリ」。本人の願いどおりになってしまいました。私たちのグループの出演があるたびにYさん宅で反省会。お菓子、漬物、おいしいお茶をいただき、本当にお礼は言い尽くせません。これから先、私たちが元気で仲良く過ごせるよ



井上房子さん(隼人)

読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお寄せください。お便りは綴じ込みのはがき、携帯電話やスマートフォンからは右の二次元コード、パソコンからは市ホームページからお送りください。



● ことができるとなりました。失語症のある主人は褒め言葉に満面の笑みで「あり。が。と。う」と。お互いに感謝の気持ちまで持てることに感動しています。(ヤッコさん69歳女性)

● 「褒める」ことでお互いがすてきな笑顔になれることは素晴らしいですね。笑顔あふ

● うに見守ってくださいね。心からご冥福をお祈りいたします。(7人の孫がいるばあちゃん79歳女性)

● 突然のお別れで悲しみも深かったことと思います。これからはYさんの分まで元気に踊られてください。

9 月号の「ごみの記事は勉強になりました。生ごみの水分を絞るだけで約1割の水分がカットでき、焼却施設の運営費の軽減に大きく貢献できるのですね。私たちが何げなく日々捨てるごみですが、一人一人の心掛けが大切だと分かりました。(しみみママ 30歳女性)

● 霧島市の一人当たりの可燃ごみ排出量は全国や県の平均を上回っています。正しくリサイクルすることで将来への負担を減らしましょう。

私 の孫は4歳と2歳。元気がいっぱいなのやんちゃ盛りで、部屋の中だけでは体力が有り余って大変です。そうい

れる霧島市を目指しましょう。

小 学校最後の夏休みの自由研究は、小学校近くの桜並木を調べることになりました。なぜかというところ、桜並木はお母さんが小学生のころにはあり、いつ、誰が植えたのか知りたいと思つたからです。市役所やシルバー人材セン

● うときのお助けマン的な遊び場は国分パークプラザにあるキッズパークです。遊具やおもちゃがたくさんあり、幼児を遊ばせるには最適です。猛暑が続いたこの夏は本場にありがたく利用させていただきました。(はなはな62歳女性)

● キッズパークでは一時預かりのサービスもあります。詳細は電話(☎48-6866)で問い合わせください。

9 月10日はふれあいポラントピア霧島の日。私たちの自治会でも毎年清掃作業をしています。この日は第2土曜日で青葉小学校の子どもたちが登校する姿も見る事ができました。男の子、女の子、高学年、低学年、みんな元気よく「おはようございます」と素晴らしいあいさつでした。当たり前と言ってしまうかもしれませんが、相手の顔を見てしっかりとしたあいさつができることはすごいことだと思います。とつてもいい朝になりました。すてきなプレゼントをもらった気持ちになりました。

ターに聞きに行きました。すると、昭和28年に2人の人が200本の苗を寄付して、その2人の名前の一字ずつを取って「大野原三万桜」という名前が付けられたそうです。僕は桜並木が今までよりももっと好きになりました。お礼がきちんと見えなかったのが、ここで感謝の気持ちを伝えたいです。お忙しい中ありがとうございました。(サッカー大好き11歳男性)

マ マまた来ようね。満面の笑みで話す興奮した表情の7歳と4歳のわが子を見て、子どもたちを連れてきて良かったと思えました。みやまコンセルで行われる郷土芸能の夕べ。奇跡のホールと呼ばれる素晴らしいホールで九面太鼓の演奏や霧島神楽を無料で楽しむことができます。なん

● 一日のスタートは気持ちのいいあいさつから始めたいですね。私たち大人も自分のあいさつを振り返ってみましょう。

9 月号の「人の風景」を見て思わず「あつ」と声を上げました。霧島の山で何度かお会いしたことのある宮ノ内さんだったからです。温かい笑顔がとても印象的で、あのままの優しい笑顔が紹介されていてうれしくなりました。またいつか霧島でお見掛けしたら宮ノ内さんに負けない笑顔で「こんにちば」と声を掛けたいと思います。(霧太郎 48歳男性)

● 登山のときのあいさつも気持ちがいいですね。霧島しつちよいどんの宮ノ内さん。その笑顔は霧島神宮で。

このほか52通のお便りをいただきありがとうございます。文章は紙面の都合上、訂正させていただくことがありますので、ご了承ください。

*環霧島会議と錦江湾奥会議を構成するまちのお祭りやイベントの最新情報をいち早くキャッチ。お好みのイベントを探して、出掛けてみませんか。

<p>環霧島・錦江湾奥イベント情報</p> <p>鹿児島市 錦江湾魅力再発見クルーズ2016秋期</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日時=10月16日、23日、30日(全て日曜)午後0時30分~2時45分 ● 場所=鹿児島港桜島フェリーターミナル2階(本港新町4-1) ※大人1,000円、小児500円、要事前申し込み 問=鹿児島市船舶局営業課 ☎099(293)4785 	<p>始良市 あいら浜祭り</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日時=10月23日(日)午前10時~午後3時 ● 場所=重富海水浴場(平松7703-4) ● 内容=車エビつかみ捕り、農産加工品や手作りスイーツの販売など 問=始良市観光協会 ☎(66)3111 	<p>垂水市 秋の産業祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日時=11月6日(日)午前9時~午後3時 ● 場所=キラドーム(田神3000) ● 内容=青空市やオールドカーショーなど 問=垂水市水産商工観光課 ☎0994(32)1111 	<p>えびの市 田の神さあの里産業文化祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日時=11月19日(土)、20日(日)午前9時~午後4時 ● 場所=市文化センター(大字大明司2146-2) ● 内容=郷土芸能の発表や特産品販売など 問=えびの市企画課 ☎0984(35)1111
--	---	--	--

※環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。錦江湾奥会議とは、錦江湾奥部に位置する鹿児島市、始良市、垂水市、霧島市の4市が、行政区を越えて連携し、地域活性化を図ります。

宮崎で生まれ育った私は結婚後の約35年間を大阪で過ごしました。夫は湧水町出身で、「退職後は地元に戻りたい」という希望がありました。

横川町にある今の家と出会ったのは平成17年4月。鹿児島に里帰りしたとき、ふと夫が「この道はどこにつながつているのだろう」と興味本意で車を走らせたのがきっかけでした。自然豊かでのんびりできそうと目を輝かせる夫の姿を今も覚えています。

平成18年1月からここでの暮らしが始まりましたが、大阪と違い交通や買い物などの不便さに戸惑いました。初めのころは友達が一人もいなくて寂しい思いもしました。そんな中、自治会の活動を通して地域の皆さんが昔からいるように接してくれたのがとてもうれしかったです。鹿児島弁や野菜作りを教えてもらい、すぐに地域になじめました。家が小学校から近いこともあり、児童の声がよく聞こえて心が和みます。

一番の楽しみは小学校の運動会です。保育園や地域の皆さんといろいろな競技に参加でき、互いの距離が縮まります。



家族で眺めたミヤマキリシマと御鉢から見た桜島の光景

自然豊かな霧島生活

◎池田 妙子

夫婦ともアウトドアが好きで、中でも登山が大好き。全国各地のいろいろな山を楽しみました。何度も訪れた霧島山で、娘

が小学生のころ、家族で初めて登山したのが高千穂峰。市の花でもあるミヤマキリシマの美しさと頂上から見た桜島の雄大さは今でも忘れられません。今思えば、霧島に住むのはそのとき決まっていたのかもしれません。

韓国岳や高千穂峰の頂上から360度見渡せる景色の素晴らしさ、毎回異なる山の表情、季節を告げる花や鳥のさえずりなど、自然を肌で感じられます。大好きな登山を通じて、たくさんの友人・知人ができ、人の輪となり、視野が広がりました。

今は霧島が誇る豊かな自然の素晴らしさを伝えるため霧島市ふるさとガイドクラブで活動しています。ガイドの先輩から霧島山の歴史や植物、登山道などを学び、新しい挑戦ができることに満足しています。

登山の後の温泉は最高です。湯量も豊富で泉質もさまざま。毎日の生活の中で、安い料金で日常的に温泉を楽しむこと



Profile

いけだ たえこ(68)

宮崎県出身。山歩きやさまざまなイベントを通じて人との交流を大切にしている。夫と霧島の大自然の中でプレーできるゴルフを楽しむ。趣味は登山、料理。横川町在住。

ができるのは何よりのぜいたくです。

大阪ではできなかった家庭菜園で夫と汗を流し、自分たちが育てた野菜などを食べられるのは最高の喜びです。地元で採れる質のいい食材を毎日ふんだんに味わえるありがたい。季節を感じ、心と体にとって豊かな暮らしを送ることができていることに感謝しています。

これからも霧島の大自然に元気をもらい、いろいろな人と出会えることに感謝し、霧島での生活を夫と楽しんでいきたいと思っています。

◎お便りをくださった方の中から、霧島市内の蔵元から本格焼酎を6人の方にプレゼント。応募締め切りは10月24日(月)当日消印有効です。
※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。



←市ホームページからもプレゼントの申し込みができます。

10 PRESENTS 霧島市内の本格焼酎を6人の方にプレゼント



- ・国分酒造株式会社(国分).....国分
- ・有限会社中村酒造場(国分).....玉露
- ・錦灘酒造株式会社(溝辺).....薩摩自頭流
- ・有限会社万膳酒造(霧島).....万膳
- ・株式会社霧島町蒸留所(霧島).....明るい農村
- ・日當山醸造株式会社(隼人).....アサヒ



※読者プレゼントを提供して下さる方を募集しています。秘書広報課広報広聴グループ ☎(64) 0955 までご連絡ください。

霧島市ホームページ



市ホームページまたは携帯サイトをご覧ください。ご利用の携帯電話や読み取りアプリによって表示される内容が異なります。

霧島市公式ツイッター



市の情報をタイムリーにお知らせします。

◎人口 / 126,551人(-87)
男性 / 60,732人(-36)
女性 / 65,819人(-51)
出生 91人 / 死亡122人
転入405人 / 転出460人

◎世帯数 / 59,924世帯(-39)
(平成28年9月1日現在)

夜間の小児救急電話相談 #8000

鹿児島県では、夜間における子どもの急な病気について、看護師が応急処置や医療機関の受診の必要性などの助言を行う「鹿児島県小児救急電話相談」を実施しています。子どもの急な発熱、おう吐、下痢、腹痛などで分からないことがあるときに、ご利用ください。

- 相談対象者=おおむね15歳未満の子ども
- 受付時間=月曜～土曜 午後7時～翌朝8時
日曜・祝日・年末年始(12/29～1/3) 午前8時～翌朝8時
- 相談員=看護師
- 相談窓口の電話番号=#8000(携帯電話・スマートフォン可)

ダイヤル回線電話、光電話、IP電話、市外局番「0986」の固定電話の場合は☎099(254)1186へ掛けてください。



今月の表紙



コスモスを見に行こう(溝辺町崎森)

秋の草花といえば秋の桜と書くコスモス。キク科の花で色とりどりのかわいらしい花が魅力ですね。写真は鹿児島空港近くの十三塚原(じゅうさんづかばる)史跡公園。高千穂峰や高速道路、離発着する飛行機を背景に、34アールの畑には夏はヒマワリ、秋はコスモスの花々が広がります。農村の景観を守ろうと平成19年から地域の皆さんが始めた取り組みで、コスモスは例年10月末まで楽しむことができます(上小園)

【撮影データ】

デジタルカメラ レンズ18～270mm
F3.5-6.3 1/160s F16 ISO200

県内初となった県・市町村による今回の合同特集。約40の自治体が同じ号に同じ目的の特集を組みました。取材を通して分かったことは、地元が育んだ焼酎文化の素晴らしさ。広報担当者が心をついたこの特集が、鹿児島県の魅力アップの「広報」支援となれば幸いです(川床)

50歳で仕事を辞め、ユリ農家に転身した鮫島さん。屋号の「夢のゆり」は、農家を始めたころに「夢を夢で終わらせないように」と知人が名付けたそうです。鮫島さんのバイタリティーと美智子さんの内助の功、地域の支えで育てられたユリ。大切な人に贈ってみませんか(土井)

今回の思い出の味の取材で、家族の温かさを感じました。大学いもを通して、家族で新しいことに取り組む姿勢、自慢できるものを作る技術、受け継いだことを後世へ残す大切さを学びました。家族のぬくもりを感じられるようキリシマイスターの精神で家族を褒めます(木原)

若いときは焼酎はもちろん、ビールも飲めなかったが、結婚してしばらくたったころから少しずつ飲めるようになった。自分でもびっくりだが、今では夕食時に飲む芋焼酎のお湯割りが何よりの楽しみ。とはいつても、コップ2杯で真っ赤な顔になり睡魔に襲われる始末(上小園)

市長コラム 前田終止

歴史に学び未来に生かす
今年、薩摩藩が天降川(大津川)の度重なる河川の氾濫を防ぐとともに、新田開発を進める目的で川筋直しを完成させてから350年。さらに水田面積を拡大し石高を上げるために隼人町の宮内原用水を完成させてから300年となりました。市では当該の『郷土史への扉』で7回にわたり史実を紹介し、シンポジウムや史跡を歩くイベントなどを開催しながら、その歴史的な意義や価値について市民の皆さまと一緒に理解を深めてまいりました。川筋を直された先人たちの努力と、工事の財源であった横川町の山ヶ野金山の恵みなど、多くの歴史の上に今の霧島市の発展があることをあらためて学びました。

平成30年は明治維新から150年。NHKの大河ドラマも「西郷どん」に決定。西郷隆盛翁が愛した日当山温泉や西南の役の史跡など、ドラマのロケ誘致に向けた動きも開始しました。今後、歴史を学び、生かし、未来につなげてまいります。

ご来場特典



芝自動車
オリジナルタオル
プレゼント!

10/22^土
・23^日
AM9:00 ~ PM5:00

※詳しくは10/20(木)折り込みのチラシをご覧ください。



ロータス専入
タイヤラウンジ

2nd ANNIVERSARY

オープン2周年を記念して、色んなイベントを開催します。

タイヤ2本以上ご購入または
ロータスカード
ご加入の方へ

空くじ無しの
大抽選会

- 必ず500円以上の
QUOカードが当たる!
- 1等 QUOカード5千円分
 - 2等 QUOカード3千円分
 - 3等 QUOカード1000円分
 - 4等 QUOカード500円分

10/22^土・23^日 2日間限りの出店イベント!!



タイヤご購入の方に、
抽選で
クオカードが
当たります!

タイヤ大放し!! 最大50%OFF

広報きりしまに
ついている
お得なクーポンを
ご持参ください。

スタッドレスタイヤのご準備はお済みですか?

ice GUARD 早期予約受付開始!

お見積り無料です。
お気軽にご相談下さい。

YOKOHAMA 車検とタイヤのプロ

ロータス専入
タイヤラウンジ

〒899-5116 霧島市専入町内1068 ☎0995-64-2110



Kirishima City Public Relations, Japan
2016.10.12発行 VOL.240

霧島広報きりしま



発行 / 〒899-4304 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 TEL / 0995-45-5111(代)
ホームページ / URL http://www.city-kirishima.jp メールアドレス / E-mail: info@city-kirishima.jp
編集 / 秘書広報課 TEL / 0995-64-0955 FAX / 0995-64-0934 ■印刷 / 南国分新社印刷

